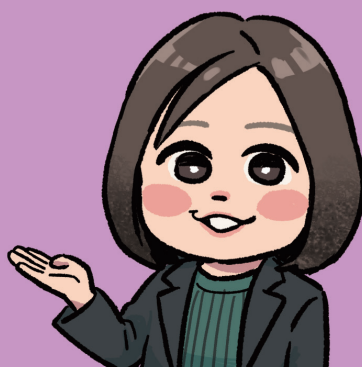


光村ポケット

中学校 英語

英語を嫌いにさせない
語彙指導！



獨協大学

はやま めぐみ

羽山 恵 准教授

- ☒ 小学校の学びを知りたい
- ☒ 「接続期」をどう扱うか悩んでいる
- ☒ 新1年生に語彙をどう指導したらよいのかわからない

ひとつでも当てはまる方は、ぜひ中面をご覧ください！

LINE公式アカウント友だち募集中！



授業づくりに役立つ情報を、
いち早くお届けします。



光村図書

【教授用資料】 本資料は、一般社団法人教科書協会が定めた「教科書発行者行動規範」に則って作成したものです。

じっくりステップアップで

英語を嫌いにさせない語彙指導！

語彙指導に悩める先生がめぐ先生にチャットで相談をしています。覗いてみましょう。

めぐ先生

小学校英語が教科化されて初めて中1の担当になりました。従来の指導から気をつけるべきことはあるでしょうか。



めぐ先生

生徒たちが安心感をもって授業に臨めるようにすることです。

小学校での英語の学びは「聞く」と「話す」が中心になっています。新1年生には、「聞いてわかる」「言える」、けれど「読めない」「書けない」という英語の単語や表現がたくさんあるはずです。例えば生徒が「アイキャンスウィム」と話しているとき、生徒の頭の中に「I can swim.」という文字は浮かんでいるでしょうか。Iやcanは知っているかもしれませんが、swimやbaseball、birthdayなどは文字が浮かぶとは限りません。そうした単語に生徒が出会ったとき、先生の「**知っている単語を、次は読めるように、書けるようにしていこう！**」という言葉かけで、**生徒は安心して授業に臨めるようになる**はずですよ。

中学校の教科書で新しく出てくる単語・表現を学ぶときも同様です。まずは音声を十分に聞いて、スムーズに言えるようになって、そしてその「音」を「文字」と結び付けるという流れが、「小学校の学びを踏まえている」ということになります。つい数週間前まで小学生だった新入生には、**ぜひ小学校での勉強からの「続き」であること、そして新しく文字というものが追加されてくること**を伝えてあげてください。

めぐ先生

最初はどのように取り組めばよいでしょうか。



めぐ先生

「接続期」で小学校での学びと生徒の現状を確認しましょう。

多くの中学校の英語の教科書では、1年生の1学期を「接続期」として位置づけています。小学校で触れてきたであろう単語が多く用いられていたり、書く活動に4線が用意されていたりと、小中の英語学習を一体として捉え、生徒たちが知識や技能を着実に積み上げられるよう配慮されているので、ここをうまく使うことが鍵となります。接続期に先生がすべきことを特に2つ挙げるとすれば、**①生徒たちが小学校で学んできたことを知る**こと、**②そのうえで今何が身についているのかを確認する**ことです。

①については、学区の小学校の教科書をぜひご覧ください。地区の小学校の先生に見せると、小中の交流のきっかけにもできるのではないのでしょうか。

②については、本課に入る前の「導入課」(Here We Go! ENGLISH COURSEではLet's Be Friends!)を活用してください。多くの教科書に、「英語を聞き取れるかな?」「友達と英語を

使ってやり取りできるかな?」「アルファベットを読めるかな?」「どんな単語を知っているかな?」「音と文字の関係をどの程度知っているかな?」といったことを確認できるページがあります。これらのページは確認のために使うことも、必要であれば指導のために使うことも、どちらもできるので、**ぜひ導入課を先生なりにアレンジして有効活用してみてください**。

めぐ先生

接続期に取り組むだけで十分なのでしょうか。



めぐ先生

小学校の学びから中学校の学びへと1年を通して段階的にシフトしていきましょう。

教育において「教えればすぐできる」ということはありませんよね。生徒たちは、「教わった」→「わかった気がする」→「でもまだ身についていない」→「できるようになってきた」→「また新しいものが出てきた…」ということを常にくり返しています。中学校の学習事項はとて多いので、負担に感じている生徒もいるでしょう。そんなときに「何度も書いて身体に染みこませよう!」という、「書くこと」を利用した力任せな活動は効果的ではありません。その単語なりの「音」と「意味」、そしてそれを表す「文字の羅列」が頭の中で連動していないと意味がないのです。**段階を踏んでいくことを、いっしょに考えてみましょう**。

小学校と違う、中学校で身につけるべき重要な技能の1つに、文字を見てそれを音声化することがあります。これが初期段階の「読むこと」(デコーディング)です。**小学校から中学校初期は、音を与えられてそれに該当する文字を認識しますが、次の段階は「文字を見て、それを自分で適切に音声化できること」**です。そのためには、「音→文字」の活動から徐々に、「文字→音」の活動を増やしていくことが大切です。例えば、生徒たちが文字を見たことがないけれど、音と文字の関係をある程度知っていれば自力で読めそうな単語でクイズを出題するのはいかがでしょうか。programの文字を「何て読むかな?」と問いかけたり、confidentの文字を「みんななら読めるよ。区切ってみよう。」とcon·fi·dentに区切ってみせたりと、そんな活動をくり返し、1年生の終わりには、教科書の英文を、つまずきながらも自分で音声化してみる、できることを目標にすると、2・3年生の学習をスムーズに進めることができるでしょう。

めぐ先生

ありがとうございます!



めぐ先生



Column

日本では年度の始まりは春。桜の花びらが舞う暖かな日差しの中、新入生たちの緊張しつつも可愛い笑顔が印象的な入学式が行われますね。一方、世界の多くの国々では、長い夏休みを終えた後に、秋から新年度が始まります。私もイギリスの大学院に入学したのはどんよりと暗く、寒く、枯れ葉が舞う秋で、さっそく日本が恋しくなったのを覚えています。時に秋始まりへの移行が議論されますが、私はやっぱり春の新年度開始が大好きです！



獨協大学
羽山 恵 准教授



入試・学力調査対応資料のご案内

< Here We Go! 編集部



入試や学力調査に向けて
何か使える資料はありませんか。



編集部

過去の入試や学力調査、CBTサンプル問題を分析した
資料を公開しています。ぜひご覧ください。

令和8年度全国学力・学習状況調査 CBT サンプル問題徹底分析！

令和8年度全国学力・学習状況調査のCBTサンプル問題が公開されました。Here We Go! ENGLISH COURSE を使った学びでどう対応できるか、東京家政大学の太田 洋 教授に解説してもらいました。



令和5年度 中学校英語 全国学力・学習状況調査問題／高校入試問題 早わかりガイド

令和5年度の全国学力・学習状況調査の調査結果から見えた課題がある力の育て方を、過去の問題を例に、敬愛大学の向後秀明教授に解説してもらいました。



Here We Go!

キャラクターLINEスタンプ 好評販売中

右の二次元コードから、もしくは
スタンプショップで「光村図書」と検索してアクセス！



光村図書

教授用資料

発行者
発行所

吉田直樹
光村図書出版株式会社
〒141-8675 東京都品川区上大崎2-19-9
電話:03-3493-2111(代表)
いしいたつや

イラスト

光村図書ウェブサイト

光村図書 | Q

